



砂留文化を次世代へ繋ごう



2021(令和3)年3月25日 堂々川ホタル同好会情報紙 2020年度第11号 (創刊より195号)

1. 3月21日、雨模様の堂々川で会員14人が「彼岸花中国地方NO.1」の目標達成に向け奮闘した。猪被害が甚大でこのままでは目標より3万本減少するからその対応。
2. 例月通りの草刈りやごみ拾いも実施。我々は少しでも瀬戸内海へ流出するプラごみを減らすため悪戦苦闘しているのに、相変わらず捨てる弁当の空き箱には困ったものだ
3. 御領新市線と分岐点堂々川の土手の樹伐採を申請し県が交通安全・防災対策を実施
4. 今回は福山大学の女学生が2人参加。環境を学び、貴重な生き物を保護するそうだ
5. 猪の被害から守るピンクリボン、しばらくは効果があったがNG。今度は木酢で挑戦
6. ソメイヨシノが開花した21日の夜ホタルが水から上陸を開始した。前年より7日早い



一番砂留東に集合の会員 14人



1 番砂留下方の草を刈る会員



猪との戦いは続く



猪に掘り起こされた場の復元作業



新事業 1 番砂留東広場 球根の植栽準備



21日 堂々公園内で雨宿り



会の堂々川基点 土手の樹を伐採



1 番砂留の指標木のサクラ



ホタルの上陸 昨年3月27日

7. 次回定例会 集合時間場所 4月18日 (日) 8時00分 ごみ拾い
1 番砂留東川原 彼岸花球根穴掘り 2500 個 (彼岸花の里入口作り)

定例会はどなたでも参加できます。

参加者は名簿にお名前を記入してください。保険に入るためです。

8. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 土肥 徳之

花一杯運動の実施

昨年御野・中条の両小学校が新型コロナ休校になり堂々川へ彼岸花を植えに来られなかった。つまり‘思い出作り’が出来なかった。既に10回を数えるこの行事だが広島県一番の彼岸花の里保全対応はできなかった。コロナの蔓延で暗くなっている世相を「花一杯運動」で明るしようと共同で企画して実施した。御野・中条小の3年生が花の咲いたプランターを近くの公共機関等へ届けた。



御野小3年生が植栽し、育てた花が咲いた3月16日、軽トラで 御野駐在所 福山市J A御野支店 御領郵便局



御野公民館へ配達し、児童代表が各所の代表の方へ経緯を説明し、日ごろの感謝を述べた。

各所の皆さんはうわさでは聞いていても実際に花が咲いたプランターが届けられたことにびっくり。入り口付近が綺麗になったと大喜び。来訪のお客さんもこんなことができるのと驚き喜んでおられた。資金は（公財）都市緑化機構殿の助成金と彼岸花基金が使われた

堂々川彼岸花基金へのご支援情報

募集中 代表 坂本迄

下記にお名前を掲載します（順不動、敬称略）次回からは発行隔月掲載

故高橋 孝一	丸山 孝志	目崎 重幸	故武田 武美	向井 厚志
諏澤 竹人	渡邊 文夫	小島 八重	奥村 共栄	宮永 美恵
石口 和寛	櫻井 道雄	櫻井 幸子	中山 晋一	乗藤 守
高橋 和子	猪原 和子	高野 孝行	諏澤 敏弘	三浦 典子
坂本 和子	内田 明博	山下しのぶ	桜田 美香	藤井 保夫

他匿名希望5名 現在までのご支援は約30万円です。

この資金を有効に使うために代表を含め渡邊文、渡辺稔、乗藤、中山各位を推進委員として任命し使い道を検討する事になりました。*同好会の会長、副会長の承認事項

◎ 堂々川のホームページがスマホから見られます。QRコード⇒
アドレス dodogawa.com

